

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年 月 日
2次評価日（課長等）	30年 月 日

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	「第4次総合計画」に沿って整理した事務事業名		
2 担当部課	評価表の所属・作成者		
3 事業概要	目的体系	基本目標	「第4次総合計画」に沿って整理した体系
		政策	
		予算科目	業務委託
		実施義務	国県補助
	根拠法令		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 (簡潔に)	この事業の受益者（事業により便益を受ける人）のために、どのような状態にしたいのか	
目的		
対象者 意図		

5 事業の実施内容	* 28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
	この事業の目的（項目4）を達成するために、市が行った具体的な取組内容	
前年度の課題への対応	前年度の事務事業評価における課題に対する取組内容	

6 指標の達成状況	* 活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 活動指標（指標名）	この事業の目的（項目4）を達成するために、実際に市が働きかけた活動の量			
実績値				
* 指標の説明				
② 成果指標（指標名）	この事業を実施することで得られる成果（事業を実施することで得られる住民満足度）を数字で表したものの			
目標値				
実績値				
達成度				
* 指標の説明				
* 目標値の設定方法の説明				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	<p>① 直接事業費</p> <p>平成27年度～平成29年度：決算額</p> <p>平成30年度：予算額（当初予算）</p>			
経常経費				
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
補助金負担金名				
② 人件費	<p>② 人件費</p> <p>正規職員の給与費、法定福利費、退職給与引当金相当額等を含め、便宜的に、正規職員1人あたり年間800万円として算出</p>			
正規職員の人数(人)				
③ 合計コスト(①+②)				
前年度比				
財源内訳				
一般財源	<p>④ 活動一単位あたりコスト</p> <p>個々の活動にかかった費用：合計コスト(③)÷活動指標(項目6)</p>			
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト				
前年度比				
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)			
	件数	<p>当該事業における補助金負担金の件数、金額</p> <p>平成27年度～平成29年度：決算額</p> <p>平成30年度：当初予算額</p> <p>※平成31年度に新規に補助金等が予定されている場合も記載</p>					
	金額						
	件数						
	金額						
	件数						
	金額						
	件数						
	金額						
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額				<p>直接事業費に占める負担金等の金額及び割合</p>		
	割合						

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

低い

評価項目	妥当性	
	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	<p>各項目で、はい=1</p> <p>いいえ=0とし、</p> <p>合計 5点=高い、</p> <p>合計 3～4点=標準</p> <p>合計 0～2点=低い</p>	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

#DIV/0!

評価項目	有効性	
	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	<p>各項目で、はい=1</p> <p>いいえ=0とし、</p> <p>合計 5点=高い、</p> <p>合計 3～4点=標準</p> <p>合計 0～2点=低い</p>	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。		
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		
④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比 #DIV/0		
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度 #DIV/0		

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	事業の成果（項目 6、8、9）を高めたり、少ない費用で大きな効果をあげていく上で、問題や障害になっている課題	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	上記で把握した課題を解決するための具体的な改善と時期	
	改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	この事業に関する次年度の方針	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	事業の優先度
-----------	----------------	---	--------